



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和4年12月15日発行 第9号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

川東中のGIGAスクール

GIGAスクール構想※により、一人一台のタブレット端末が整備され、2年が経過します。学校だより9月号（学校評価特集号）でお知らせしたとおり、100%の職員がICT（情報通信技術）を活用し、生徒の大半が「ICTの活用は学習内容の理解に有効である」と感じています。今号では、「川東中のGIGAスクール」と題して、ICTの活用実態を紹介します。

先日実施した研究授業でもICT機器を活用しましたので、その様子を紹介します。

研究授業④高橋光輝教諭の国語授業（2年生）＝11月29日（火）＝

古典「枕草子」の学習後、2年生全員が「オリジナル枕草子」を創りました。日常の中で個々が感じる四季それぞれのよさを発表し、意見交換をした上でよりよい作品になるよう推敲しました。手元のタブレット端末に送信された班員の作品に慣れた手つきで自分の意見を入力する姿が見られました。



「春は桜」「春は入学式」と言った「あるある」感のある作品以外にも「春はベッド」「春はいちご」と、聞けば「なるほど」と思うような作品もありました。

五泉市及び近隣中学校の新採用の先生方6名が参観しました。

各々の作品をコピーした用紙を班員に配付し、自分の意見を直接書き込む方法もありますが、ICTを活用することで紙面に制限がなく、手軽に書いたり、消したりできるよさがあります。また、コピーする手間もなく、その場ですぐに共有できるのもよさと言えるでしょう。

※「GIGA(Global and Innovation Gateway for All)スクール構想」とは、…。

児童生徒向けの1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、誰一人取り残すことなく、個別最適化された創造性を育む教育を実現させる構想です。



「タブレット端末」とは、タッチパネル機能をもつ液晶ディスプレイを有し、指やペンなどで操作できる小型パソコンです。

「電子黒板」とは、タブレット端末の画面に表示した資料や写真などを投影する液晶テレビのような形をしたディスプレイ・モニターです。

国語以外の教科や諸活動でもICTを積極的に活用しています。その様子を紹介します。

授業での活用の様子
【社 会】教師が用意した画像をタブレット端末に配信することで、生徒は手元で確認できます。各自で拡大縮小できるので、個々の求める様々な情報を得ることができます。
【数 学】展開図が組み上がる様子や平面が回転して回転体ができる様子を動的に確認できます。手元の操作でグラフの形状を変えることができるので、その特徴が理解できます。
【理 科】見本の画像をタブレット端末に配信すれば、生徒は手元で確認しながら、配線を組み立てられます。実験結果を写真に写せば、片付け後も手元に残すことができます。
【英 語】いわゆる「デジタル教科書」を使えば、フラッシュカードが耳だけでなく、視覚的にも確認できます。また、単語の発音が動画でいつでも、繰り返し確認できます。
【音 楽】合唱を動画で撮影すれば、その場で手軽に確認できます。楽譜を画面で共有すれば、教師のマーカーが手元のタブレット端末にも反映され、わかりやすくなります。
【美 術】作成途中の作品を毎時間自分で撮影することで、作業の進み具合を確認できます。また、鑑賞の時間には作品を配信することで、個々が手元で作品を鑑賞できます。
【保健体育】ペアになって器械体操の様子を互いに撮り合うことで自分の動きを客観的に見ることができます。静止機能により、ポイントをつかむこともできます。
【技 術】見本となる電子基板を配信すれば、自分の見たい箇所を拡大して確認できます。植物の成長を継続して撮り貯めることで、日記風に成長の様子を追うことができます。
【家庭科】見本となる作品の組み立て方や縫い方の動画を配信することで、生徒は見たいときに見たい場所を見直すことが可能になります。裁縫や包丁さばきでも同様にできます。

【市教委主催の講習会を配信で】 人権講習会「L G B Tについて考えよう」が配信されました。市内4中学校3年生への一斉配信により、密を避けて実施できました。	【配信で自宅で授業に参加】 感染や濃厚接触等により、自宅待機を余儀なくされた生徒も、体調が良ければ、配信された授業を視聴することができます。
【生徒会活動や行事でも】 生徒会入会式では資料を配信したり、東雲祭では手元のタブレット端末操作で、離れたスピーカーから音楽を流したりしました。	【健康状態を瞬時に把握】 毎朝、タブレット端末を使って健康観察を実施することで、養護教諭が短時間で確実に、全校生徒の健康状態を把握できます。

いまやタブレット端末は筆記用具やノートと同様に学校生活の必需品となっています。川東中学校ではより有効な活用方法を模索しています。

■お知らせ「部活動が変わります」■ 具体的な内容について、「広報ごせん」毎月10日号で紹介しています。是非ご覧ください。

